事業	番号	31 担当課 図書館										
1 事	業名	図書館	館資料購入事業・図	書リサイクル関係	 系事業							
	舌評価 会の課題	新しい資料を幅広く収集し、うことは、図書館にとって必要リサイクル本の提供は、資料ントを開催することで、普段をうきっかけとなる、重要な事業利用者の多様なニーズに対所活用して、限られた予算の中でについては、ICタグの導入にできる環境づくりなど、新たな	要不可欠な事業です 原の有効活用の側面 図書館を利用してい 業と言えます。 応し続けるために、 で効率よく資料を収 よる手続きの簡易化	。 がある一方で、リ ない住民の方にも 今後も寄贈や他館 集します。また、 や、電子図書のよ	リサイクルフェアと 5図書館を身近に原 官との連携による株 利用者への情報扱	こいうイベ 感じてもら 目互貸借を 提供の手法						
3 事業	の背景	住民のみなさんの読書、学習います。 また、社会変化に対応するだえていく必要があります。入れ 活用しています。	こめには、継続的に	:新しい資料を購 <i>7</i>	人し、図書館の情報	最を入れ替						
4 事業	の目的	住民のみなさんの多様な知的要求や課題解決に的確に応えるために、図書館資料の充実を図ります。 また、図書館で利用されなくなった本をリサイクル本として、住民のみなさんに利用していただくことで資源の有効活用を図ります。										
5 国等	係法令 補助制度 連計画	図書館法、東浦町中央図書館条例、同規則、第二次東浦町子ども読書活動推進計画										
6 関連	連事業	図書館情報化事業、図書館 *	ナービス体制充実事	「業、子ども読書活	5動推進事業							
/	本的な 施内容	本のリサイクルフェア(4月 4月提供冊数 11月提供冊数雑誌のリサイクルフェア(7	VD 53点、紙芝尼 3、11月) 7,678冊 譲渡冊 4,253冊 譲渡冊	数 6,405冊 (詞数 3,901冊 (詞	譲渡率91.7%)							
8 (平成	業実績 (28年度〜 30年度)	_{夏~} 町民1人当だりの資料点数 3.9点 3.8点 3.8点										
9 特記	記事項											

10	₩≢	要集/ブロ\	平成28年度決	:算	平成29	年度	決算	中	成30年	F度	決算	令和元年度予算		
10	柳事	業費(千円)	23	3,061	24,63	3 対前	前年比(%)		24,401	対前	方年比(%)	26,0	96	対前年比(%)
		備品購入費	8	3,928	8,50	0	95.2%		8,300		97.6%	8,5	00	102.4%
支	事	需用費(雑誌)	1	1,194	1,22	5	102.6%		1,236		100.9%	1,300		105.2%
	業	需用費(装備)	1	1,227	2,29	1	186.7%		2,136		93.2%	2,0	96	98.1%
山山	質	その他		390	40	3	103.3%		411		102.0%	3	44	83.7%
		合計	11	1,739	12,41	9	105.8%		12,083		97.3%	12,2	40	101.3%
			①法により市町村	義務と	と定められて	ている	3 .	-	すべて		一部		0	いいえ
			②行政関与の必要	②行政関与の必要性が高い。						0	普通			低い
11	車	業の評価	③事業効果が高い		Ē	高い	0	普通			低い			
' '	J	未り計画	④事業範囲・規模		7	妥当	0	改善の	余地あり					
			⑤受益者負担は妥当である。						妥当		改善の	余地あり		
			⑥手法は適切であ	ì	適切	0	改善の	余地あり						
			② 公共図書館として地域資料の収集や保存を継続的に行うためには、行政の関与は必要と考えます。											
			③ 利用者への図書資料の提供においては必要不可欠ですが、貸出者数および貸出点数共に 減少しているため対策を考える必要があります。											数共に
12	ĒΨ	価の理由	④ 幅広い分野の資 いく必要があり			川者	に安定し	したヤ	青報提供	を行	う体制	を今後も	充実	きせて
			⑤ 受益者負担はありません。(入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収してはならないことが法律で定められています。)											
			⑥ 本離れをしてい	ハる方	や、利用し	てい	ない方を	が利用	用したく	なる	ぶような	【工夫が必	要で	ੱ ਰ 。
40	声₩ 左	拡大した場合	所蔵本を増やし 提供できます。	たり、	頻繁に入	れ替え	えを行う	らこと	で、より)豊	富で新	鮮な情報を	E利用	用者に
13 .	事業を	縮小・廃止 した場合	収集できる資料	が限ら	られること	で、禾	利用者の)=-	-ズに対応	って	きずサ・	ービスが但	下	します。
14	事美	業の方向性	拡大	改善	0	現状絲	維持		縮小]	廃止		

	事業番号	32	担当課		図書館								
1	事業名			- - - - - - - - - - - - - - - - - - -									
2	総括評価 今後の課題	図書館システム更新に伴い、 たり、利用者のページにおいる 書館システムを選定しました。 とで、読書意欲の向上につなか 今後は、より効率的で、利何 ます。	て読書記録機 , 読書記録機 がると見込ま	能を追加するな。 能は、自分がどん れます。	ど、利用者にとて んな本を何冊読ん	ってより充実した図 いだか記録できるこ	<u> </u>						
3	事業の背景	パソコン・スマートフォン点としての役割を求められてい※情報リテラシーとは、情報はする能力のことを意味し、環を整えることで、利用者を求められます。	ハます。 幾器やITネ 図書館におい	ットワークを活所 ては利用者に対し	用して、情報・ラ し情報・データを	データを管理、活用 を管理、提供する環	月						
4	事業の目的	利用者にとって利便性の高いシステムを提供し、日々情報管理を行い利用者の自主学習や知識向上のため情報提供を行います。 また、利用者自らが図書館の情報機器にふれ利用できるような環境を継続すると共に、自身のデバイスを活用できる環境を提供します。											
5	関係法令 国等補助制度 関連計画	図書館法、東浦町中央図書館	図書館法、東浦町中央図書館条例、同規則、第二次東浦町子ども読書活動推進計画										
6	関連事業	図書館資料購入・リサイクル	ル事業、図書	館サービス体制を	充実事業、子ども	ら読書活動推進事業	Ě						
7	具体的な 実施内容	図書の貸出、返却及び予約館システムにより蔵書管理するべ物支援)に広く対応できます(平成30年度新規実施内容)・図書館システム更新業務(基	ることにより す。	、利用者からのし									
				平成28年度	平成29年度	平成30年度							
	事業実績	インターネットパソコンの利	別用実績	466件	723件	966件							
8	(平成28年度~ 平成30年度)	Webによる予約件数		7,243件	6,398件	6,490件							
		督促メール送信実績		69件	114件	95件							
		今度読みたい本の登録利用者	<u> </u>	131人	135人	169人							
9	特記事項	ICタグ、電子書籍の導入なる のみなさんのニーズ、費用対象 要があります。											

10	10 総事業	を登場(エロ)	平成28年度決算	算	平成29	年度	表算		平成30年	度	決算	令和テ	年	度予算
10	和事	·未貝(T门)	9,9	569	9,59)2 対	計前年比(%)		19,801	対前	 有比(%)	9,2	239	対前年比(%)
		委託料	1,8	830	1,83	80	100.0%		6,820		372.7%		0	0.0%
支	事	使用料•賃借料	2,0	090	2,09	92	100.1%		2,281		109.0%	2,4	129	106.5%
	業費	役務費	:	246	24	13	98.8%		357	146.9%		3	327	91.6%
Ш	貝	その他				5	0		4,239	84	1780.0%		5	0.1%
		合計	4,	166	4,17	70	100.1%		13,697	328.5%		2,7	761	20.2%
			①法により市町村舗	養務と	定められ	てい	る。		すべて		一部		0	いいえ
			②行政関与の必要性	生が高	高い。				高い	0	普通			低い
11	車	業の評価	③事業効果が高い。	•				0	高い		普通			低い
		·未vorim	④事業範囲・規模は	模は妥当である。					妥当	0	改善の	余地あり		
			⑤受益者負担は妥当である。						妥当		改善の	余地あり		
			⑥手法は適切である。						適切	0	改善の	余地あり		
12 評価の理由			② 業務委託 や指案 ですが、本事等 資料の管理、た、 資料の管理、た、 ④ 従来機能の見や ⑤ 受益者負担はあ ⑥ 自動す。 ⑥ 自動す。	能のみ 出イ しや 記子 い ま 子 書	を切り離す返夕がある。	t	には適切でなる。これである。これである。これである。これである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	で「シ科」し、「~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	はないため、 ステムよに (文字や予利便性 こいく 必要) を上げる手	、 一 りの 一 のが 一 法 一	所政の関 加率的が可 弱いシス あります の導入を	1号は普通 いつ正確な が能となっ で で で で で う で う で う で う で う で う で う で	と 実て 新 U S S S S S S S S S S S S S S S S S S	はした。 されています。 かました
13	事業を	拡大した場合	電子図書の導えなったり、ICタ 額の費用がかかり	タグの	D導入によ									
-		縮小・廃止 した場合	システムを縮り します。また、 用者の需要に応え	ネット	環境の提									
14	事美	業の方向性	拡大	改善	0	現状	維持		縮小			廃止		

	事業番号	33	担当語	R	図書館	馆							
1	事業名		図書館	サービス体制弁	実事業								
2	総括評価 今後の課題	地域の特性や住民のニース 利用したことのない方も呼び 図書館イベントを協働で行 ため、図書館事業への提言や のアイディアを取り入れるが また、遠方に住む住民の	び込み、継続的 行ってきた「c やイベント等の ための新たな!	的な利用につな よむらびサポー D持ち込み企画 ナポーター制度	げていくことが重要 ターズ」が平成30 、実施など、住民 ^か の立ち上げを検討し	要です。 1年12月に解散した や利用者のみなさん します。							
3	事業の背景	ライフスタイルの多様化や 視点に基づく運営が求められ 書館をより居心地の良い空間	れています。 ±	也域の実情にあ	ったサービスを提供								
4	事業の目的	図書館を利用したことがで、図書館利用の促進を図			利用できるサービス	ス体制を整えること							
5	関係法令 国等補助制度 関連計画	図書館法、東浦町中央図記	図書館法、東浦町中央図書館条例、同規則、第二次東浦町子ども読書活動推進計画										
6	関連事業	図書館資料購入、リサイク	クル事業、図記	書館情報化事業	 、子ども読書活動丼	推進事業							
7	具体的な 実施内容	①レファレンスサービス:利用者の情報や資料探しを支援するサービス ②相互貸借:図書館同士が所蔵している資料を貸し借りしてリクエストに応える制度 ③講座:図書館利用のきっかけづくりを目的とした講座 ④イベント:図書館利用のきっかけづくりを目的としたイベント ⑤よむらびサポーターズとの協働事業: 図書館の魅力向上につながる取り組みを考える住民活動グループの協力により、事業の見直しについて話し合ったり、イベントを協働で行う。 ⑥ D V D 上映会:所蔵D V D を活用した子ども向けと大人向けの上映会 ⑦図書館フェイスブックによる広報:フェイスブックを活用した図書館活動等の広報 ⑧図書館の魅力向上プロジェクト:よむらびコンサートや移動販売「よむらびカフェ」の開催 ⑨ Free Wi-Fi(無料公衆無線LAN)サービス ⑪ 広域ネットワークの構築による公共図書館における情報基盤整備: 利用登録が可能な節囲…町内・知名地域の2市町、刈谷・高近市に存住・存勤・存学の方											
8	事業実績 (平成28年度~ 平成30年度)	利用登録が可能な範囲…町内・知多地域の9市町、刈谷・高浜市に在住・在勤・在学の方											
9	特記事項	・南吉の手紙レブリカ作成等業											

10	纵击	なまれての)	平成28年度	決算	平成29	9年	度決算		平成30年	F度	決算	令和元年度予算			
10	柳事	業費(千円)		14,818	15,8	844	対前年比(%)		17,771	対前	 有比(%)	17,	155	対前年比(%)	
		需用費		81	4	70	580.2%		1,405		298.9%	,	102	28.6%	
支	事	報償費		80		28	35.0%		180		642.9%		40	22.2%	
出出	業費						0			(0		0	
Ш	質	その他					0		982		0			0	
		合計		161	4	98	309.3%		2,567		515.5%		142	17.2%	
			①法により市町	村義務。	と定められ	てし	いる。		すべて		一部		0	いいえ	
			②行政関与の必	要性がで	高い。			0	高い		普通			低い	
11	車	業の評価	③事業効果が高	い。					高い	0	普通			低い	
	7	大 り計画	④事業範囲・規模は妥当である。						妥当	0	改善の	余地あり			
			⑤受益者負担は	妥当である。					妥当		改善の余地あり				
			⑥手法は適切で	ある。					適切	0	改善の	余地あり			
			② 図書館サーヒ 年間約14万											カ果があ	
			年間約14万人(平成30年度来館者数)の方が図書館を利用しており、一定の効果があ ③ ると考えていますが、年々図書館利用者が減少しているため、事業内容を見直す必要が あります。												
12	評	価の理由	④ 講座やイベント等への一時的な参加で終わらせることなく、継続的な図書館利用につがるよう事業内容を工夫する必要があります。											につな	
			⑤ 受益者負担に	⑤ 受益者負担はありません。											
			⑥ 図書館サーヒ ⑥ 内容や周知方						ルに図書館	を利	川用して	こもらうた	めに	、事業	
12 3	車業を	拡大した場合	図書館への来	館頻度	 ゆ読書活動	_ かを(――― 足進します								
13 -	事業を	縮小・廃止 した場合	住民の図書館	への関ル	心が薄れ、	図	書館利用者	が	減少します	t.					
14	事	業の方向性	拡大	改善	5	現			縮小			廃止			

	事業番号	34	担当課	図書館										
1	事業名		子ども読書	活動推進事業										
2	総括評価 今後の課題	中央図書館のマスコットキャはじめ、子どもたちが図書館や ブックスタート事業では、約率が伸びてきたため、今後も見 図書等の貸出利用が少ない中棚の充実を図り、読書に親しみ	り読書に親しむこの 絵本の種類を増やり 配直しをしながら紹 同音生の読書離れる	とができるような事業 ∪たり、周知方法を見 継続的に事業を実施し を防ぐためにも、中高	を展開してきました。 直した結果、絵本の引換 ていきます。									
3	事業の背景	平成13年に制定された「子び愛知県の推進計画を基本とし 平成26年に第二次計画、平成計画を策定しました。同計画の を推進しています。	ノて、平成21年に 30年度には、それ	東浦町子ども読書活動 1までの取り組みの成	加推進計画(第一次)、 果と課題を踏まえ第三次									
4	事業の目的	すべての子どもが、自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を目的とします。												
5	関係法令 国等補助制度 関連計画	子どもの読書活動の推進に関	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画、愛知県子ども読書活動推進計画、 東浦町中央図書館条例、同規則、第二次東浦町子ども読書活動推進計画											
6	関連事業	図書館資料購入・リサイクル	図書館資料購入・リサイクル事業、図書館情報化事業、図書館サービス体制充実事業											
7	具体的な 実施内容	①おはなし会・第1を発生を表する。 ②ブスタートにはなり、 名・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスタートには、 ・アクスが、 ・アクスを、 ・ののは、 ・のののは、 ・のののは、 ・ののは、 ・のののののののは、 ・のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	記かせを行い、絵名の を名・4年生学4~ の対象では種座(小学を がして(O)をでは、でのでは、でのででででででででででででででででででででででででででできます。 では、では、では、では、では、できます。 では、できますが、できます。 では、できますが、できます。 では、できますが、できます。 では、できますが、できますが、できますが、できます。 では、できますが、できまますが、できまができますが、できますが、できまができまができますが、できまができますができますが、できまができまができまができまができまができまができまができまができまができまが	本の引換券を配布 養者) (6年生) (5) 講座(一般・ボラン学4年生以上) さもとその親) ボランティア) 至①②(4ヶ月~3歳 書館見学、小中学校教 出し(1校1学期100 シティア団体、よむら 読み聞かせ、よむら	ティア) までの子とその親) 諭の社会体験研修を実施 冊まで) びサポーターズの催し物 びマスコットPR									
8	事 業実 績 (平成28年度~ 平成30年度)	(A) 28年度												
		よむらびブロジェクト件数		/ 1牛	6件									
9	特記事項													

10	松幸	5 世 弗/土田)	平成28年度決算	Ī	平成29	年度決算		平成30年	F度》	夬算	令和元	元年	度予算	
10	市心寺	業費(千円)	7,0	062	6,288	対前年比(9	6)	6,853	対前	i年比(%)	6,1	07	対前年比(%)	
		報償費	2	248	258	104.0	%	263	101.9		101.9% 278		105.7%	
支	事	需用費	1,1	43	579	50.7	%	588		101.6%	7	750	127.6%	
	業費						0						0	
Ш	貸	その他					0			0			0	
		合計	1,3	391	837	60.2	%	851		101.7%	1,0)28	120.8%	
			①法により市町村義	議務と	定められて	いる。		すべて		一部		0	いいえ	
			②行政関与の必要性	ŧが高	5し1。		0	高い		普通			低い	
11	11 事	業の評価	③事業効果が高い。			0	高い		普通			低い		
	-	×0011m	④事業範囲・規模は		妥当	0	改善の	余地あり						
			⑤受益者負担は妥当		妥当		改善の	余地あり						
			⑥手法は適切である	0	適切		改善の)余地あり						
			② 第二次東浦町子ども読書活動推進計画を推進していくため、行政の関与は必要です。											
			③ 定例のイベントや講座に加え、新しいイベントや講座を実施することで新たな利用者が 図書館に足を運ぶきっかけになります。											
12	割	価の理由	④ 幼児から小学生までの子どもに対する読書活動の推進事業は充実していますが、自主 習目的で図書館を利用する中高生の読書への関心を高められる工夫が必要です。											
			⑤ 受益者負担はありません。											
			© マスコットキャラクターである「よむらび」を活用して、子どもたちに図書館に興味を 労力でもらう動機付け等を継続的に行う必要があります。											
12	事業を	拡大した場合	子ども読書活動の提供できることが期			ずをさらに	_ _ 促進	し、子ども	らがえ	— 本に親	 しむ機会を	きよ	り多く	
13	尹耒で	縮小・廃止した場合	子どもの読書環境 ことが考えられます		-分に整備す	ることが	でき	ず、子ども	らがえ	本に親	しむ機会た)「減	少する	
14	事	業の方向性	拡大	改善	Į	引状維持	0	縮小		J.	廃止			